

千葉市の耕作放棄地を再生～ 15名のボランティアが草刈り

千葉農業事務所企画振興課 平成25年11月5日発

11月2日(土)、県と市、県耕作放棄地対策協議会、県農業再生協議会、千葉地域農林業振興協議会の主催により、千葉市谷当町の谷津田において耕作放棄地活用応援団モデル活動を行ないました。県が募集したボランティア「耕作放棄地活用応援団」のメンバー15名が参加、約4000㎡に及び耕作放棄地の草刈り作業に汗を流しました。

同応援団は2009年から県が募集し、現在、個人・団体・企業を含め団員数は1000名を超えています。これまでに研修会や再生活動、広報活動を行っており、今年7月の南房総市における支援活動に引き続き、今回、2回目の支援として取り組みました。

今回の支援活動依頼は、千葉市内の谷津田を再生しようと援農活動を行っているNPO法人からのものです。南房総市の活動を耳にしたことをきっかけに、同応援団に支援要請をしたものでした。

当日は親子で参加した人や、企業の関係者も参加、多くの方が自ら肩掛け式の草刈り機を持参していました。役割り分担を行ない、安全を図るための草刈り機の取扱い講習を行なった後、午前中約2時間の活動を行ない、身の丈よりも高く茂った雑草が見る間に刈られていきました。

作業を見守っていたNPO法人の代表は、「全く面識のなかった人たちの協力で耕作放棄地がどんどん再生されていく。非常に感謝している。」と語っていました。



作業前



作業後

